

地元で応援!!

# 祝! 将棋連盟 150周年

特集

## 羽生善治×藤井聡太 スペシャル対談

多様な人が盤を挟む  
「将棋らしい風景」を千駄ヶ谷から

## 棋士散歩

21名の棋士と  
千駄ヶ谷・神宮前二丁目周辺をゆく

レビューを送って地元で使おう!  
 **ハチペイ**  
Hachi Pay  
ポイントプレゼント

日本将棋連盟  
100周年  
記念  
スペシャル対談

# 多様な人が盤を挟む「将棋らしい風景」を千駄ヶ谷から

将棋界の歴史を塗り替え、同時代に生きる棋士と切磋琢磨を続ける日本将棋連盟・羽生善治会長、藤井聡太八冠に日本将棋連盟100周年という節目を祝ってインタビュー。将棋会館のある千駄ヶ谷・神宮前二丁目エリアの印象や、今秋竣工予定の新・東京将棋会館に託す思い、お二人が感じる「将棋の魅力」まで、なごやかな雰囲気の中伺った。

羽  
生  
善  
治

藤  
井  
聡  
太





**羽生善治 (はぶ・よしはる)**

1970年生まれ、埼玉県出身。1985年に中学生で棋士としてデビューし、1989年初タイトル竜王位を獲得。その後も公式戦で優勝を重ね、一般棋戦優勝回数45回で歴代単独1位の記録を樹立。永世竜王、十九世名人、永世王位、名誉王座、永世棋王、永世王将、永世棋聖、名誉NHK杯選手権者と合計8つの永世称号を保持している。2018年には、棋士として初めて国民栄誉賞を授与された。2023年6月、日本将棋連盟会長に就任。



**将棋の総本山、将棋会館が受け継がれる街での思い出**

——初めて将棋会館に足を踏み入れたときの印象や思い出を教えてください。

**羽生会長 (以下、羽生)** : 将棋会館に初めて来たのは45年ほど前、「小学生将棋名人戦」の予選会に出場したときでした。当時は家が遠方で、その後も頻りに将棋会館の道場に通うことはなかったんですが、やはりここが将棋の総本山なんだと思うと、子どもながらに特別なイメージがありましたね。

**藤井八冠 (以下、藤井)** : 私は、小学校3年生で「小学館学年誌杯争奪 全国小学生将棋大会」に出るために上京し、「せっかくだから、将棋会館にも行ってみよう」と、大会前日に2階の道場で対局したのが最初でした。当時は、何連勝かすると景品がもらえたんです。今もあるのかな……。その日は6連勝できて景品をもらい、気分よく道場を出て翌日、伊藤匠さん(七段)に負けてしまうという(苦笑)。次の来館は14歳の

ときの三段リーグ最終日なので、それまで将棋会館に来る機会はありませんでした。

**羽生** : 小学3年生からだ、大分、間隔が開きましたね。

**藤井** : そうなんです。昇段できるか瀬戸際だったので緊張していたんですが、初めて4階に上がり、「ここが対局室か!」と、内心テンションが上がったのを覚えています(笑)。

——千駄ヶ谷・神宮前二丁目エリアの印象についてはいかがですか?

**羽生** : 今も昔も、静かで落ち着いた雰囲気、保たれている気がします。変わらず街を見守ってくれているような、鳩森八幡神社の存在も大きいと思いますね。子どもの頃は、お参りもせず神社の境内を通り抜け、将棋会館までショートカットしていた記憶がありますが(笑)。

**藤井** : 将棋会館やシャトーアミーバ(ABEMAスタジオ 神宮前2-8-2)に行く機会も多く、このあたりはよく歩いています。渋谷区は坂が多い印象があって、千駄ヶ谷駅から将棋会館へ行く道も少し上って下

りますよね。あと、鳩森八幡神社の「富士塚」に登ったことがないので、近々機会を見つけて頂上までと思っています。羽生先生と同じく、落ち着いた空気がありながら、お店もたくさんあってバランスが絶妙だと感じます。

**羽生** : 確か、カレーの食べ歩き(千駄ヶ谷・神宮前カレースタンプラリー)も開催されていましたよね? 古くから愛されているお店と、新しい飲食店それぞれの魅力があり、将棋会館に出前いただいている「将棋めし」も楽しく選んでいます。また、千駄ヶ谷駅には「将棋コーナー」が設けられ、街ぐるみでの温かな応援を感じますし、将棋連盟会長に就任してからは、地域のみならずお会いすることが増え、将棋や棋士の活動に理解を示し、ご支援くださってきたことを体感するようになりました。

**将棋界、棋士への応援の声が形づく「新・将棋会館」を活気ある場所に**

——新・将棋会館建設を支援するクラウドファンディングへの反響について、率直な感想をお聞かせください。





### 藤井聡太 (ふじい・そうた)

2002年生まれ、愛知県出身。2016年、史上最年少14歳2か月でプロ入りを果たす。デビュー以来29連勝し、最多連勝記録を更新。将棋ブームを巻き起こす。2020年7月、史上最年少で初タイトルの棋聖位を獲得。奪取・防衛すべてに成功し、2023年10月、史上初の「竜王・名人・叡王・王座・棋王・王将・棋聖・王位」の全タイトル八冠独占を達成。同年、内閣総理大臣顕彰を受賞。6年連続年度勝率8割以上を達成し、現在も継続中。



**藤井:** 本当に多くの方にご支援いただき、ありがたく思っています。クラウドファンディング第五期では、羽生先生と、画家のヒグチユウコ先生と鼎談させていただいたんですが、そこで自分が絵を描き、その絵がもともとなった返礼品ができるとは想像しておらず……。羽生先生が先に描き始められたので、私もやるしかない。

**羽生:** (笑)。

**藤井:** あのときは戸惑いましたが、返礼品への反響が大きくて、うれしく、ありがたかったです。

**羽生:** 「#次の一手もみんな」というテーマを掲げた第五期では、目標金額1億円を大きく超える約3億円が集まりました。「みんな」に想像を超える人数が加わってくださったことに、棋士は励まされました。この機運を大切に、第六期のクラウドファンディングに向かっていきます。支援時にいただいたコメントもすべて読んでるので、今後も参考にしながら進めたいです。

——現在建設中の新・将棋会館はどんな場所になってほしいですか？

**藤井:** 駅前のので、たくさんの方に気軽に立ち寄っていただける場所になればと思っています。カフェもできるそうで、とても楽しみです。

**羽生:** 張り詰めた雰囲気対局室と、一般の方が将棋に親しめるスペースがワンフロアに共存する形は初めてですが、対局室は静かな環境を保ちながら、将棋イベントを開いたりといったことも可能だと思います。メリハリをつけて、活気ある場所にしたいですね。

### 誰もが楽しみ、自分らしさを追求できる将棋の魅力伝えたい

——次の100年、200年とつないでいきたい「将棋の魅力」について教えてください。

**羽生:** 将棋は、世代を超えて交流ができるところが素晴らしいと感じます。年齢を重ねても楽しめますし、一度ルールを覚えれば環境の変化などで盤を離れても、またいつでも始められる。誰でも親しみを持って迎えてくれる懐の深さも、将棋の魅力。新・将棋会館の話につながりますが、新道場は

ガラス張りでかなりオープンになります。多様な人々が盤を挟んで向かい合う「将棋らしい風景」を多くの方に見ていただくことで、将棋の魅力発信ができると期待しています。

**藤井:** 私は対局の終盤に特に魅力を感じます。取った駒を持ち駒として使える将棋独自のルールによって複雑でスリリングな展開になることが多く、将棋の奥深さ、面白さが詰まっていると感じています。

現代では、将棋というとAI研究の印象が強まっていると思いますが、将棋は本来すごく自由なゲーム。意識していなくてもその人らしさや表現が指し手ににじみでるのも、将棋の面白さです。対局中に考えたことを一番大切にさせていただきたいですし、私も自分の考えを基に、自分らしい将棋が指せるようこれからも盤に向かっていきたいです。

撮影/浜村葉月 取材・原稿/岡島梓  
ヘアメイク/中軍裕美子 撮影協力/ホテルニューオータニ





# 棋

千駄ヶ谷・神宮前  
二丁目周辺

# 士

# 散

# 歩

「将棋会館のある千駄ヶ谷・神宮前二丁目周辺の思い出のスポットや、お気に入りのお店を教えてください!」東京・将棋会館を本拠地とする関東所属の棋士・女流棋士にアンケートを実施したところ、78名から回答が集まった。本特集では、総勢21名の棋士・女流棋士のご協力のもと、思い出の場所やスポットに足を運びお話を伺った。棋士たちの視線やエピソードを通してみると、慣れ親しんだ街の新たな一面が感じられそうだ。

記録係の仕事後に  
先輩に連れられ食べた  
夜中のラーメン

## ① ホープ軒

昭和35年に創業以来、変わらぬ味を提供するホープ軒。運ばれてきたラーメンを前に「そうそう! このもやしラーメンをよく頼んでいたんです」と松本佳介七段は顔をほころぼせた。自家製の中華麺に、背脂がたっぷり入ったスープがよく絡み、ボリュームがありながらも飽きのこない一杯だ。24時間営業で昼夜問わず客足が途絶えることなく、寒い季節でも1階の立ち食いカウンターは賑わいをみせている。2階3階席からは国立競技場がよく見え、景観も抜群だ。「昔よく食べた味です。当時だいたいここに来るときは夜中だったので、眠くて朦朧としてましたが、食べるとやはり当時の記憶が蘇りますね。あと、ジャスミン茶というものを初めて飲んだのもホープ軒だったかも……」。

### 松本佳介 (まつもと・よしゆき)

1971年生 / 七段 / 埼玉県出身

対局の差し手を記録につける「記録係」をやっていた中学生の頃は、夜中までかかることもありました。終電を逃したときに、連れて行ってもらったのがホープ軒だったんです。大人は居酒屋に行ったりできますけど、僕は未成年だったし、24時間営業しているのでありがたかった。夜中にラーメンを食べて、また将棋会館に戻って朝まで眠る。そんな時代がありました。

### 【SPOT DATA】

住所: 千駄ヶ谷2-33-9  
営業時間: 24時間営業  
定休日: 無休  
電話: 03-3405-4249  
MENU: ラーメン ¥1,000、  
チャーシューメン ¥1,300、  
もやしラーメン ¥1,150



### 私もお気に入りです!

先崎学

他にもこのスポットをおすすめされた方のお名前です。



将棋堂祈願祭が行われる聖地! 対局前にはお参りでゲン担ぎも

## 2 鳩森八幡神社

千駄ヶ谷一帯の総鎮守である鳩森八幡神社は、将棋とも関係が深いスポットだ。境内にある将棋堂には約1m20cmの将棋駒が飾られているが、これは1986年に当時日本将棋連盟の会長だった大山康晴十五世名人が奉納したもの。通常時は将棋堂の御扉は閉じられているが、1月の指し初め式前に行われる将棋堂祈願祭のときのみ開かれる。

2024年の将棋堂祈願祭も、羽生善治会長はじめ、多くの棋士たちも参列した。将棋盤が描かれた「王手勝守(木箱入)」(1,000円)や「王手守」(500円)、将棋にまつわる格言・手筋が受けられる「王手みくじ」(200円)なども境内で頒布されているため、将棋ファンにとっては聖地巡礼の定番になっている。

(左) 中村太地(なかむら・たいち)

1988年生/八段/東京都府中市出身

長く千駄ヶ谷に通っていますが「千駄ヶ谷=鳩森八幡神社」というイメージが強いです。よく行っていたお店がなくなったり、景色が少しずつ変わっても、鳩森八幡神社だけはいつも変わらずにあって、将棋連盟をずっと見守ってくれているような感覚がありますね。「せんだがや盆踊り大会」などにも参加しましたし、思い出深い場所です。

(中央) 山田久美(やまだ・くみ)

1967年生/女流四段/群馬県太田市出身

私が中学生のころ、女流棋士になる前に参加していた一門の研究会のときに、暇をみつけては年の近い女の子たちとよく鳩森八幡神社に来て、いろいろな話をしたり、追いかけて話をしたりしてました。40年以上棋士として生きてきましたが、今でも将棋会館で対局の際には必ずお参りをしてから向かうようにしています。

(右) 山根ことみ(やまね・ことみ)

1998年生/女流三段/愛媛県松山市出身

鳩森八幡神社はお参りもするのですが、実は近くにある『GENERAL FURNISHINGS & CO.』というインテリアショップが好きで、たまに立ち寄ります。おしゃれなお皿やお香なんかがあって、対局に勝った日には自分にご褒美として買ったりすることもあるんですよ。小さな楽しみになっています。

年中無休のティースタンドで、盤に向かう集中力をチャージ!

## 3 モンマスティー



高浜愛子(たかはま・あいこ)

1984年生/女流1級/大阪府大阪市出身

室谷女流三段に教わって以来、通っています。対局前には必ず立ち寄り「モンマスホットLサイズ」を。リラックス効果のあるシナモンは「多め」にトッピングをお願いし、飲むと心が鎮まって集中できます。店頭で女流棋士と会うこともあり、同じルーティーンかも(笑)。将棋会館が移転しても、こちらに立ち寄ってから戻ります!

【SPOT DATA】

住所:千駄ヶ谷1-21-2

営業時間:7:00-24:00

定休日:無休

電話:03-3478-2357

MENU:モンマスティー¥450(M)

¥490(L)、モンマスカッシュ

¥470(M)¥510(L)、アイスウ

ィンナ¥480(M)¥520(L)

私もお気に入りです!

井道千尋

加藤結李愛

対局中は中辛でガマン!  
カレー激戦区の中で輝く一品

## 4 Cafe de Curry

石田直裕(いしだ・なおひろ)

1988年生/五段/北海道名寄市出身

カレーが特に好きなんです。千駄ヶ谷はカレー激戦区でもあるのでいろいろ食べてみたのですが、Cafe de Curryのミートミックスカレー(1,600円)は特にお気に入りです。この食べ応えがいいですね。辛さは中辛を選びました。本当は辛いのも結構いけるんですけど、対局中の昼休みに辛口カレーを食べるのはちょっと怖いので……、中辛に抑えています!



【SPOT DATA】

住所:千駄ヶ谷2-33-1 カーサ

キミ1F

営業時間:火~日11:30-18:00

定休日:月

電話:03-3475-9777

MENU:本日のサービスランチカ

レー¥1,200、チーズカレー¥1,300、

ビーフカレー¥1,400

【SPOT DATA】

住所:千駄ヶ谷1-1-24

私もお気に入りです!

相川春香/阿部健治郎/

石田直裕/井道千尋/梅

津美琴/梶浦宏孝/勝又

清和/加藤結李愛/上村

亘/齋田晴子/佐々木慎

/所司和晴/杉本和陽/

瀬川晶司/高崎一生/高

浜愛子/武富礼衣/千葉

幸生/中川大輔/永瀬拓

矢/中村真梨花/長谷部

浩平/羽生善治/深浦康

市/藤倉勇樹/藤森哲也

/松本佳介/森下卓/八

代弥/横山泰明



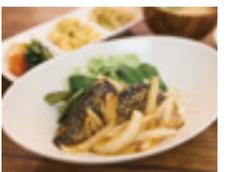
故郷を思い出すサバの南蛮酢  
対局中に食べた幻のメニューも!

## 5 鳩やぐら

深浦康市(ふかうら・こういち)

1972年生/九段/長崎県出身

定食のメニューが本当に豊富なんですけど、中でも特に好きなのがサバの南蛮酢。地元の長崎ではサバがよく食べられていますし、母親も南蛮酢をよく作っていたので、懐かしさを感じますね。対局中に出勤で頼んでいたハンバーグ定食も大好きだった! 最近はメニューから消えてしまったので、今日は改めておかみさんに『ぜひ復活してください!』とお願いしておきました(笑)。



【SPOT DATA】

住所:千駄ヶ谷1-22-4

営業時間:月~金12:00-15:00、

18:30-23:00/土12:00-15:00

定休日:日・祝

電話:090-3316-8108

MENU:ランチ定食¥1,200、夜定

食¥1,350

私もお気に入りです!

鈴木大介

緑豊かな神宮外苑で、76年生徒の可能性を信じ、伸ばす教育を

## 6 國學院高等学校

1988年に卒業した佐藤康光九段から、在学中の砂原奏女流2級まで、國學院高校は4名の棋士・女流棋士を輩出している。個々の実力は言うまでもないが、文化的な校風やクラスの雰囲気も、将棋に打ち込む二人を後押ししたようだ。「穏やかで優しいクラスメートが『対局お疲れさま』と声をかけてくれます。文化祭など、文化的な活動を後押ししてくれる学校です(砂原)。「将棋以外の話ができる友人と過ごした高校生活は、人生にとってプラスでした。楽しい思い出ばかりです(佐藤)」。



(右) 佐藤康光(さとう・やすみつ)  
1969年生 / 九段 / 京都府八幡市出身

「将棋会館から一番近い」というシンプルな理由で受験しましたが、個性的な先生方の授業は記憶に残っています。毎朝ギリギリの登校で、高校時代が一番快足でした(笑)。國學院高校のレンガ造りの校舎の雰囲気が、今の将棋会館と似てるんですよ。同じエリアで、互いに重ねてきた長い歴史を感じます。

(左) 砂原 奏(すなはら・かなで)  
2006年生 / 女流2級 / 千葉県船橋市出身

学校見学会で流れた「卒業生のメッセージ映像」に、偶然、佐藤先生が登場されてご縁を感じました。入学前から将棋にも理解ある学校だと実感しましたし、伝統文化を大切にしている校風と、クラスメートの応援にいつも支えられています。校内には、佐藤先生が寄贈された盤駒などが並ぶコーナーも設けられています!



【SPOT DATA】  
住所: 神宮前2-2-3



将棋を愛するマスターが営む  
“観る将”も集う新名所!

## 7 咸宜苑

「将棋×グルメで新たな道を切り開く」と謳う咸宜苑。店内に入ると、将棋の駒や将棋盤、封じ手などの数々の貴重な資料が飾られており、さながら将棋博物館のような様相を呈している。「マスターは4歳のときから将棋を指していて、プロ並みの腕前なんです(瀬川)」と語る通り、将棋への愛情が店中に充満している心地のよい空間だ。店内にある大型スクリーンには、過去の対局や将棋にまつわる映像が常時流れている。名物は将棋の駒の形をした特注せいろで調理する『咸宜苑せいろ蒸し』。ファン同士で集まって将棋話を花を咲かせながら食べたい一品だ。



【SPOT DATA】  
住所: 千駄ヶ谷2-32-2 リベルテ青山B1  
営業時間: 月~木18:00-23:00 / 金18:00-24:00  
定休日: 土・日・祝  
電話: 03-5414-2783  
MENU: 国産若鶏の唐揚げ ¥780、咸宜苑せいろ蒸し1人前(日高四元神威豚) ¥2,480、ハイボール(角瓶) ¥680

私もお気に入りです!  
木村一基 / 齋田晴子 / 森内俊之

瀬川晶司(せがわ・しょうじ)  
1970年生 / 六段 / 神奈川県横浜市出身

店のリニューアル前からお世話になっていました。昔、対局が遅くまで続いて帰れなくなった時に、駆け込み寺のようにさせていただいたことも。閉店時間なのに、僕たちが行くと言われて休ませてくれたんです。何を食べても美味しいし、お酒も進みます。酔っ払ってケンカになってる棋士を止めに入った経験もありましたね(笑)。

明治9年開校!  
地域と連携し、特色ある教育を推進中

## 8 千駄谷小学校

山口恵梨子(やまぐち・えりこ)  
1991年生 / 女流三段 / 鳥取県出身

毎日、道場に通いつめていたので、放課後に校庭で遊ぶ友達がちよっとうらやましく感じることもあったなあと思ひます。小3で転入したのですが、個々が尊重され、困ったら助け合う雰囲気があるクラスですぐに馴染めましたね。本好きで図書室によく通い、将棋部顧問の田中寅彦先生が寄贈された将棋マンガも読みました。



【SPOT DATA】  
住所: 千駄ヶ谷2-4-1

本場仕込みの多彩な中華料理!  
ボリューム満点のランチも人気

## 10 上海飲茶 猪八戒

梶浦宏孝(かじうら・ひろたか)  
1995年生 / 七段 / 東京都新宿区出身

小4の頃から毎週のように道場に通っていました。送り迎えしてくれた祖父との昼食といえば、猪八戒さん。提供が速く、すぐ道場へ戻れました(笑)。棋士になって訪れたとき、店長さんが私と祖父のことを覚えてくれてうれしかったですね。思い出の味は、ほんのり甘いチャーシューに乗ったチャーシュー麺。ほっとする味わいです。



【SPOT DATA】  
住所: 千駄ヶ谷1-7-11  
営業時間: 11:30-14:30、17:00-23:00  
定休日: 無休  
電話: 03-3401-3775  
MENU: 特製チャーシュー入りスープ麺 ¥1,145、タンタン麺 ¥1,145、日替わりサービスランチ ¥950

私もお気に入りです!  
上村亘 / 窪田義行 / 山口恵梨子

訪れるたび心がくつろぐ  
五感が満ちる大人の隠れ家

## 9 MUTO sendagaya

伊藤沙恵(いとう・さえ)  
1993年生 / 女流四段 / 東京都武蔵野市出身

中村真梨花女流四段のおすすめで訪れたのが最初です。モダンで落ち着いた空間、スタッフの方の絶妙な距離感が心が穏やかになります。五感で味わえるMUTOさんの和食が大好きで、小鉢ひとつにもこだわりを感じます。打ちたての「海老油蕎麦」も、お箸を持ち上げただけで海老の香りが立ちのぼり、幸せな気持ちになりました。



【SPOT DATA】  
住所: 千駄ヶ谷2-33-8 YKビル1F  
営業時間: 11:30-14:30、18:00-22:00(L.O. 21:00)  
定休日: 水・第2・第4木曜日  
電話: 03-6447-2177  
MENU: ランチ 蕎麦 鉢物と旬ご飯付 ¥1,800、一汁三菜 ¥2,900、ディナー MUTOおまかせコース ¥16,500円~ (昼夜ともに要予約)

私もお気に入りです!  
千田翔太 / 中村真梨花

散歩で眺めていた能楽堂に初潜入  
引退後の趣味は能で決まり?

## 11 国立能楽堂

神谷広志(かみや・ひろし)  
1961年生 / 八段 / 静岡県浜松市出身

対局の合間に国立能楽堂の周辺をよく散歩していました。中に入らせていただいたのは初めてですが、舞台を間近で見るとやっぱり迫力があります。歳をとると、伝統芸能のすごさや魅力がより理解できるようになってきますよね。僕はあと3年で引退が決まっているので、今後は時間もできるだろうから、能を勉強してみようかな。



【SPOT DATA】  
住所: 千駄ヶ谷4-18-1 営業時間: 公演情報やレストラン・資料展示室・図書閲覧室の情報は、国立能楽堂ホームページ (https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html) にてご確認ください。



棋士に愛され続ける名店  
スタミナ満点の勝負めし

## 12 うなぎ ふじもと

「うなぎ ふじもと」の刺繍が施された暖簾をくぐる前から、香ばしい匂いが食欲を誘う。将棋の街・千駄ヶ谷で50年以上の歴史を誇る名店「ふじもと」。小上がりの座敷席には、歴代の棋士たちのサインが連なる将棋盤が置かれている。「食レポみたいで緊張しますね(笑)」と満面の笑顔で迎えてくれたのは、森下卓九段。現在は、将棋連盟の理事も務め、対局以外でも多忙な日々を過ごしているという。「棋士にとってはおなじみのお店です。ひふみんこと加藤一二三先生は、昼もうなぎ、夜もうなぎというくらい召し上がっていた。ほかにも大一番のときは、ふじもとさんという棋士は多いです」。



**[SPOT DATA]**  
住所:千駄ヶ谷3-15-12  
営業時間:月~金11:30-15:00、  
17:30-20:30 / 土11:30-15:00  
定休日:日・祝(不定休)  
電話:03-3401-6551  
MENU:うなぎ(梅)¥3,100、う  
なぎ(ランチ)¥2,300、ふじもと  
定食¥5,000

**私もお気に入りです!**

青野照市 / 上村亘 /  
神谷広志 / 中村太地 /  
渡邊和史

**森下 卓**(もりした・たく)

1966年生 / 九段 / 福岡県北九州市出身

はじめて訪れたのは、たしか中学生の頃。師匠と後援会の方々がお酒を酌み交わす中、子供一人でじっとしていた私に「坊や、どうだ?一杯食べるか?」との声が再三かかり、お重を3杯いただいた記憶があります(笑)。その後プロになってからも、折に触れてはお店を訪れたり、出前をお願いしたり……本当に長いお付き合いです。



散髪&マッサージで気分転換!  
常連の理容室で思い出に花が咲く

## 13 ノバーノバー・ノバー

「親父さんの境遇に、なんとなく私と近いものを感じて通いはじめたのがきっかけです」そう語る青野照市九段は、行きつけの理容室に案内してくれた。理容師の清田奈依瑠さんは「棋士の方は姿勢が変わらないので身体が固まりやすいのか、いつもバキバキなのでマッサージは念入りに行っています」と語る。今年、通算800勝を達成したベテランの体を癒すのは、なじみのパーパーチェアだ。「今でも髪を切るときは必ずここで決めています。対局で負けたときに、気晴らしに髪でも切ろうかなと思って訪れることもあります。オーダーは特にしなくても、カットとシャンプーと顔剃りを一通りやってもらえるので助かっています」。



**[SPOT DATA]**  
住所:千駄ヶ谷1-6-4  
営業時間:火~日9:00-18:00  
定休日:月・祝  
電話:03-3408-5420  
MENU:カット(シャンプー・髭剃り付き)¥5,500、パーマ¥10,000  
~、カラー¥9,500~

**青野照市**(あおの・てるいち)

1953年生 / 九段 / 静岡県焼津市出身

親父さんとは、同じ時代を生きてきた感じがするんです。僕が奨励会に入会したのは15歳の頃。将棋会館に住み込みで働いていました。当時、先輩たちが夜な夜な麻雀に興じていて、よく後片付けを押し付けられたものです。腹が立ったのでこっそり牌を捨ててやりましたよ(笑)。ここに来るといろいろなことを思い出しますね。

おしゃれ「将棋めし」も話題!  
濃厚なミルクの  
ソフトクリームをどうぞ

## 14 レティエ

「岩手県・葛巻町(くずまきまち)の低温殺菌牛乳を使った自家製メニューが人気のカフェ、レティエ。2021年、レティエが将棋会館への出前をスタートしたのは、中村先生との雑談がきっかけだった。「女流棋士に人気で、私も大好きだったので推薦しました。店長の青木さんとお話して、『オムハヤシ』を商品化いただいたりもしましたね。棋士の先生方がレティエさんに注文されると、なんだか私までうれしくなります」と中村先生。ご主人の千田先生は、「今思うと、妻に『どんなメニューなら食べたい?』と軽く相談されていた気がします(笑)」。インタビュー終了後には、店長から結婚祝いのサプライズプレートが!お店と、お二人との温かな関係性がにじむ一幕だった。



(左) **千田翔太**(ちだ・しょうた)

1994年生 / 八段 / 大阪府箕面市出身

仕事の合間、妻と初めてお邪魔したときにいただいた「ブランデーショコラソフト」は思い出の味です。濃いミルクの風味と、それを引き立てるブランデーや生チョコのトッピングが見事ですし、店内でゆっくりいただけるのもうれしいです。「将棋駒クッキー」など焼き菓子も美味しくて、スタジオへ差し入れるとよこばれます。

(右) **中村真梨花**(なかむら・まりか)

1987年生 / 女流四段 / 神奈川県出身

ソフトクリームの甘さと爽やかさのバランスが最高で、いくらでもいただけます! 夏場の対局中は、シェイクなどを注文して盤に向かっていきます。ミルク飲み放題も楽しいですし、季節ごとに味わえるメニューが変わるので全く飽きません。夫に教えてもらったお店ですが、私の方がハマってしまいました(笑)。

**[SPOT DATA]**

住所:千駄ヶ谷1-22-7 1F  
営業時間:平日12:00-18:00 /  
土・日・祝11:00-18:00  
定休日:木  
電話:03-6455-5262  
MENU:はちみつとナッツ(フル  
サイズ)¥890、レティエライス  
¥1,000、将棋駒クッキー¥250



「将棋めし」の大定番！  
マンガで読んで憧れたメニュー

## 15 ほそ島や

将棋ファンで知らない人はいないとも言われているほそ島や。藤井聡太八冠がカツカレーを頼んだことでも広く知られるようになった名店だ。そば屋でありながらカレーも大人気だが、悩んだすえに八代弥七段が注文したのは「鴨南ばん」(1,100円)。「カレーも中華そばも食べるのですが、僕が一番頼んでいるのは鴨南ばんです。最初に来たの

は16歳くらいのときだったと思います。子どもの頃に読んだ『美味しんぼ』に登場する鴨南ばんがすごく美味しそうで、ずっと食べてみたいと思っていたんですね。僕にとっては憧れの料理でもあったんです。ジューシーな鴨肉とネギの旨みが口の中に広がる鴨南ばんは、ちょっと贅沢をしたい日はうってつけだ。



**【SPOT DATA】**  
住所:千駄ヶ谷2-29-8  
営業時間:月～金11:30-15:00、17:00-19:30 / 土11:30-14:30  
定休日:日・祝  
電話:03-3404-0921  
MENU:鴨南ばん¥1,100、中華そば¥800、カレーライス¥900

### 私もお気に入りです！

上野裕和 / 勝又清和 / 神谷広志 / 佐藤康光 / 所司和晴 / 千葉幸生 / 中川大輔 / 長谷部浩平 / 日浦市郎 / 藤森哲也 / 松尾歩 / 横山泰明

八代 弥(やしろ・わたる)  
1994年生 / 七段 / 静岡県賀茂郡出身

屋食はしっかり食べるようにしていますが、やっぱり対局中だと将棋のことばかり考えてしまいますね。午前中の段階で劣勢だと、食事の味がしなくなることも(苦笑)。とはいえ、僕は食事もお酒も大好き。コロナ前は対局後に先輩後輩と飲みに行くこともありましたが、最近は減ってしまいましたので、ちょっと寂しいです。



炭焼き窯から登場する塊肉の迫力！  
千駄ヶ谷の人気ステーキハウス

## 16 CHACO あめみや

暖かな照明がとる店内に、ひときわ目立つ竈。1979年に開店以来変わらない空間には、炭火で焼かれた肉の香りが充ちている。夜のクラシックな雰囲気が好きだと話してくれたのは、佐々木勇氣八段。『夜チャコ』はまだ数回ですが、昇段や結婚といったお祝い事があるときに棋士数人で来たこともあります。その時も、お店の名物『ブロックステーキ1kg』を囲んで切り分ける様子を撮ったりして、楽しい時間だったな。味も最高ですし、このボリュームのお肉を前にするとやっぱり盛り上がりますよね。



**【SPOT DATA】**  
住所:千駄ヶ谷1-7-12  
営業時間:火～金11:30-14:00、火～土17:00-22:00 / 日・祝17:00-21:00  
定休日:月・第1日曜日  
電話:03-3402-6066  
MENU:ヒレステーキ6オンス ¥3,960、サーロインステーキ6オンス ¥3,410、エビのカクテル ¥990

### 私もお気に入りです！

及川拓馬 / 片上大輔 / 北島忠雄

佐々木勇氣(ささき・ゆうき)  
1994年生 / 八段 / 埼玉県三郷市出身

対局疲れを回復させ、パフォーマンスを上げるにもお肉です。元気になりたい日は、CHACOさんのヒレステーキをレアで食べたい！無理と解っていますが、会館内で熱々を食べられたらと思ったことも……。昼食休憩中、偶然一緒になった先輩棋士が先にお会計を済ませ、スマートにごちそうしてくださったのも懐かしい思い出です。



**【SPOT DATA】** 住所:千駄谷小学校(千駄ヶ谷2-4-1)交差点

対局後、一日の疲れを癒す  
駅までの散歩と「あんみつ」

## 17 夜の明治通り

遠山雄亮(とやま・ゆうすけ)  
1979年生 / 六段 / 東京都練馬区出身

対局の日は一日中集中しているので、心身ともに疲れます。だから、対局が終わったらリセットするために一駅歩くことにしているんです。夜の明治通りは静かで灯りも少なく落ち着きます。負けた日でも、歩いて歩いて……駅に着く頃にはスッキリしますよ。通り沿いにある『八屋』のあんみつも好きで、時間が合うときは寄り道することもありますね。

紹介されたスポットのレビューの投稿で

総額 50,000円!!  **ハチペイ** ポイントをプレゼント

10,000円分×2名様  
3,000円分×10名様

当コーナーで紹介されたスポットのレビューを右のQRコードから投稿してください。レビューをお寄せいただいた方の中から抽選でハチペイポイントをプレゼント。当選の発表は、ポイント付与のご連絡をもってさせていただきます。



応募期限: 2024年4月30日 / 当選発表: 5月上旬

当選者の方には、ハチペイポイントのQRコードをメールでお送りします。QRコードからハチペイポイントを取得して、地元でお使いください。

【スタッフ】撮影/駒崎貴洋(モンマステー、國學院高等学校、国立能楽堂、千駄谷小学校、MUTO sendagaya、上海飲茶 猪八戒、レティエ、CHACO あめみや)、浜村菜月(ホープ軒、鳩森八幡神社、Cafe de Curry、鳩やぐら、成宜苑、うなぎ ふじもと、バーバー・バー、ほそ島や、夜の明治通り) 取材・原稿/岡島梓(モンマステー、國學院高等学校、千駄谷小学校、MUTO sendagaya、上海飲茶 猪八戒、レティエ、CHACO あめみや)、木村瞳(うなぎ ふじもと)、竹田磨史(ホープ軒、鳩森八幡神社、Cafe de Curry、鳩やぐら、国立能楽堂、成宜苑、バーバー・バー、ほそ島や、夜の明治通り)

## 将棋連盟からのお知らせ

日本将棋連盟より地元の方や応援してくださっている方へのお知らせです。2024年9月8日、日本将棋連盟は創立100周年を迎えます。周年を迎えるにあたって、地元の方からの応援を力に、より地域に根差した活動をしてまいります！

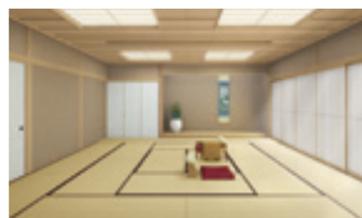


今秋オープン予定の新・東京将棋会館（完成予想図のため、変更となる場合があります。）

### 千駄ヶ谷駅前に 今秋オープン！ 新・東京将棋会館

2024年秋、千駄ヶ谷駅前、東京体育館向かいに新・東京将棋会館が完成します。

新しい将棋会館には、カフェや物販コーナーも併設。将棋がわからなくてもどなたでも立ち寄れるオープンな会館です。現・将棋会館では2階にあった道場や4階以上の



特別対局室（完成予想図のため、変更となる場合があります。）

上階にあった対局室もすべてワンフロアに。これまでよりも将棋を身近に感じていただける作りになる予定です。

### 文化と日常が出会う、 新しい一手 駒テラス西参道

連盟が運営をし、「観る将」の聖地を目指す駒テラス西参道。さまざまなイベントや教室、展示、映像配信など、将棋を通じた魅力あるまちづくりのため、新しい日常を発信しています。併設されているカフェやギャラリーを通して、将棋の魅力をご堪能ください。



住所：代々木4-16-1 / 開館時間：10:00-20:00  
休館日：火、年末年始 / 電話番号：03-6300-5721



## 「新・将棋会館建設プロジェクト」 クラウドファンディング、 最終期4/1よりスタート！

2024年4月1日より、新・将棋会館建設に向けたクラウドファンディングの第六期が始まります。棋士が中心となって考案した返礼品は、いずれもクラウドファンディング限定。今回が最終期となる「新・将棋会館建設プロジェクト」へのご支援をお願いいたします。



## 第五期 返礼品 「藤井聡太八冠記念 ファンミーティング」レポート



第五期クラウドファンディングのご支援者が集い、2024年2月14日、ホテルニューオータニで「藤井聡太八冠記念 ファンミーティング」が開催されました。

「家族とも特に祝っておらず、八冠祝いは初かも……」と語る藤井聡太八冠、中村太地八段、室田伊緒女流二段が出演し、藤井八冠への質問コーナーや、プレゼント抽選会が行われました。出演者が各テーブルを回っての歓談では、この日一番の歓声が。笑顔あふれるツーショット撮影まで、盛りだくさんの2時間でした。

# 掲載箇所MAP

※赤丸数字は「棋士散歩」の掲載番号と対応しています。



## 将棋連盟100周年に寄せて



渋谷区長・長谷部健さん

私は神宮前出身なので、将棋会館の周辺はまさに地元です。小学生の頃、テレビの将棋中継で将棋会館近くの遊び慣れた景色が映ると、少し誇らしげな不思議な気持ちになったのを覚えています。

渋谷区は今は流行の発信地ですが、100年前は何もなかったといい、急激に発展した新しい街です。そんな中、鳩森八幡神社や明治神宮など、緑に恵まれた昔ながらの風景や文化が共存しています。

そういった日本の伝統的な文化、そのひとつの象徴ともいえる「将棋」の総本山が渋谷にあり、その文化

が街に根付いているということが、ここに住む人や働く人の「シティプライド」に繋がります。「シティプライド」が集まる街は良い街になっていくので、その一翼を担っていただいていることに感謝しています。

渋谷区としては将棋連盟と西参道の駒テラスも一緒にしていますが、新・将棋会館と共に、さらに将棋という文化が渋谷という地域に浸透し、また世界へと発信されていくことを願っています。そして、その歩みを共にしていければうれしく思います。

撮影/浜村菜月 取材・原稿/木村瞳

「祝! 将棋連盟百周年記念冊子」 2024年4月1日 | 万6,000部発行 (日本将棋連盟配布2,000 各戸配布10,000、商店街会員配布4,000) A4判・20P・4C

### 【発行】

「祝! 将棋連盟百周年記念冊子」編集委員会

日本将棋連盟/担当・総務部/渋谷区千駄ヶ谷2-39-9/03-3408-6166 (平日10-17時)

千駄ヶ谷大通り商店街/担当・岡崎/千駄ヶ谷1-21-2/03-3401-1830 (月水金13-17時)

神宮前二丁目商和会/担当・沢辺 (ポット出版内)/神宮前2-33-18-303/03-3478-1774

### 【スタッフ】

編集——岡崎千治、岡島祥、木村瞳、沢辺均 (ポット出版)、

竹田磨央、松村小悠夏

デザイン——坂本龍司 (YO-design)、和田隆之、和田高歩 (ドレッシング)

写真——駒崎貴洋 (P11-17)、浜村菜月 (表紙、P2-17、裏表紙)